

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	消防救急無線デジタル化事業		担当部署	消防本部 予防課		
総合計画体系			根拠法令計画など	電波法 審査基準		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 21年度	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なると			21年度	
(小項目)	消防			終期	~平成27年度	
施策	2	消防体制の充実				
基本事業	2	消防力の強化				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 消防救急無線の全設備						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	電波法の改正を受け、消防救急無線を平成28年5月末日までにアナログ方式からデジタル方式に完全移行する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		消防救急無線のデジタル化	○	○	○	○		

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	近隣5消防本部が共同で、徳島市の眉山山頂に山上基地局を設置することとした。 なお、共同整備を実施する際の事業主体は徳島市とし、事業費については個別見積額に基づく負担率により決定した。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	連絡協議会開催参加回数		-	-		回
	2	実施設計・整備工事		整備工事	整備工事	完成見込	
成果指標 <small>対象にどのような効果があつたかを示す指標</small>	消防救急無線のデジタル化		○	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		5,657	14,223	269,900	0	0	千円
	財源内訳	国	0	0	0	0	0	
		県	0	0	0	0	0	
		地方債	3,920	13,200	249,100	0	0	
		その他	1,680	0	0	0	0	
		一般財源	57	1,023	20,800	0	0	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	0	0	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1				
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		6,309	14,875	270,552	0	0	千円	

【事務事業名：消防救急無線デジタル化事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	徳島市を事業主体とし、近隣5消防本部(徳島・鳴門・小松島・板野西部・名西)による眉山山上基地局の共同整備を進めているところである。 活動波については、鳴門市単独で整備する必要があり、平成26年度は瀬戸前進基地局の建築をはじめとする活動波関連施設の整備工事を行うものとする。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 消防体制の充実 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				